



水中軸流ポンプ **ドカポン**

VD1型 取扱説明書

VD1-40、VD1-75、VD1-150

ご使用前に必ずお読みください。

この度はドカポンをご採用いただきまして、誠に有り難うございます。

- 本書は運転及び保守の注意事項を説明しています。ご使用前に必ず、お読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後も大切に保管して下さい。
- 本品を貸与又は譲渡される場合には、この取扱説明書をお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失、又は汚損の場合、弊社または弊社代理店にご連絡ください。
- 本品は予告なしに仕様変更することがあります。
- 不明な事やお気づきの点がございましたら、弊社または弊社代理店にお問い合わせください。

内 容

- | | | |
|------------|--------------------|-----------|
| 1. 安全上のご注意 | 2. 銘板・注意ステッカーの貼付位置 | |
| 3. 仕様・諸元 | 4. ご使用前のご確認 | 5. 使用上の制限 |
| 6. 据付・配管 | 7. 電気配線・運転 | 8. 保守・点検 |
| 9. 故障原因と処置 | 10. 各部の名称 | 11. 保証 |

1. 安全上のご注意



警告

取扱を誤った場合に非常に危険な状況が起こりえて、死亡又は重症を受ける可能性が予想される場合。



注意

取扱を誤った場合に危険な状況が起こりえて、障害又は軽症を受ける可能性や物的障害の発生が予想される場合

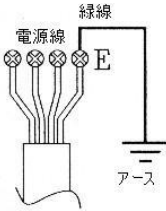


警告

- 指定用途以外に使用しない！

爆発、引火、ポンプ故障の可能性がありますので、油類、有機溶剤、薬品等、水以外の揚水は絶対に使用しないでください。

- 確実なアースを施す！



感電の危険を軽減するため、ご使用前に必ず有資格者による第3種接地工事を施してください。安易なガス管、水道管、避雷針、電話線への接地は、大変危険ですので絶対にしないでください。

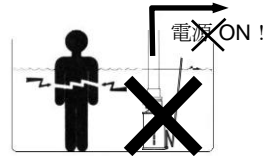
(第3種接地は、お近くの電気工事店にご相談ください)

- 漏電遮断器を設置する！

感電の危険を軽減するため電源には、必ず電気設備技術基準、又は、内線規程に適用する漏電遮断器を各機体ごとに設置してください。

- 人のいる水中で使用しない！

感電の危険を避けるため、絶対に、人のいる池や水槽では本機の電源を切ってください。



- 点検、修理時及び使用しない時は、必ず電源を切る！

感電やけがの危険を避けるため、点検、修理の際は、必ず電源を切ってから行って下さい。

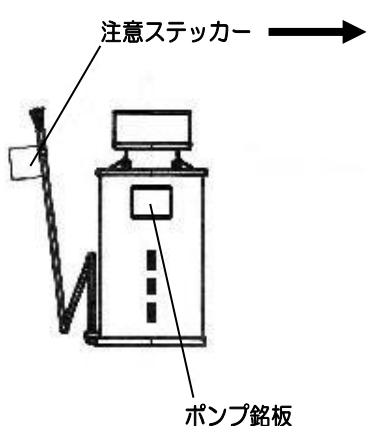
- ケーブルを引っ張らない！

感電やポンプ故障の可能性があります。

注意

- 異常を感じたら、すぐポンプを停止する。
運転中、異常を感じたら、直ちに運転を停止し、点検又は、修理に出してください。
- 電源ケーブル延長は、適正な芯線径のケーブル線を用いる。
ケーブル延長により電圧降下が発生します。一定以上の電圧降下は、性能低下や他の故障の原因となりますので、内線規程に従って延長距離にあった芯線径のケーブルを選定してください。
- 銘板値の電圧、周波数で使用する。
電源が銘板通りか確認してください。違った場合、感電事故やポンプ故障の原因となります。
- 改造、分解は行わない。
改造は、故障や感電の危険があります。分解も同様の危険性がありますので、弊社又は、弊社代理店に依頼してください。

2. 銘板・注意ステッカーの貼付位置



次頁の仕様・諸元・型式・製造記号・回転方向等を銘板に明記しています。

ご使用前に必ず説明書をお読みください。

警告

1. アースを確実に接続する。
2. 漏電遮断機を設置する。
3. 運搬・点検前に電源を切る。
4. 人のいる池では電源を切る。

注意

1. モータ出力に合ったモータブレーカを必ず設置してください。
2. ケーブルは絶対に引っ張らないでください。

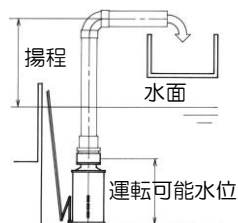
5-1 適用液種について

下記の範囲内の水でご使用ください。特に油類、有機溶剤、海水薬品には使用しないでください。

気温	0～32℃
PH	6～9
塩素イオン	200mg/L以下
砂含有量	50 mg/L以下 (0.25 mm以下)
粘度	5CP
液比重	1.05 以下

5-2 最高仕様揚程は3m以下とする。

最高使用揚程は3mです。配管長さがほとんど無い場合は水面から吐出口までの高さが3m以下の範囲でご使用ください。3m以上の場合、過負荷となり故障の原因となりますので、弊社までご相談ください。



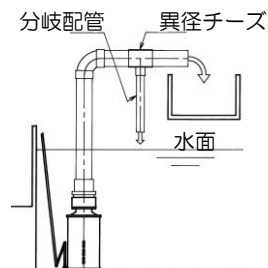
5-3 配管長さは20m以下とする。

配管長さが20m以上の場合、配管口径をポンプ口径より大きくしてください。30m以上や、曲がりが多い場合は事前に弊社までご相談下さい。使用揚程3m、配管長さ20m（これに近い使用条件も含める）の仕様では使用できませんので注意してください。

上記の使用条件を超える場合でも、特殊仕様により対応できることがありますので 事前に弊社までご連絡ください。

5-4 流量調整は分岐配管でもとに戻す。

流量が多すぎる場合は分岐配管を設け、水量の一部をもとに戻してください。配管を小さくしたり、バルブの閉塞により流量を少なくしたりすると大きな過負荷となり、モータ焼損、寿命の低下を招きます。



5-5 発停頻度は6回/時です

始動・停止を繰り返す頻度は1時間に6回以下としてください。

5-6 運転開始水位について(運転可能水位)

およそ吐出口の付近まで水没すれば、揚水が可能です。(次表の通り)

運転可能水位

	ポンプ底部からの水位
VD1-40	370mm
VD1-75	420mm
VD1-150	500mm

これは、本機の羽根車が上部に位置するためです。必ず運転可能水位になってから運転を開始してください。水位が

低いと空運転になり揚水できず、モータが異常発熱し焼損の原因となります。

5-7 単独運転による弊害

本機の万一のトラブルによる運転停止の際にも、二次的被害が出ない様、複数台又は、補助機器を設置してください。

5-8 電源には、必ずモータ保護装置・漏電ブレーカを設置する

本機にはモータ保護装置がありません。ポンプの過負荷や電源異常からモータを保護するため、下記の電流設定の保護装置を機体ごとに設置してください。電流設定の容易な保護装置として富士電機製モータブレーカがあります。参考に品番を記載します。詳しくはお近くの電気工事店にご相談ください。

	設定電流値(50Hz) 品番		設定電流値(60Hz) 品番	
VD1-40	3.4A	GV2ME01086	2.9A	GV2ME01086
VD1-75	5.0A	GV2ME01106	4.8A	GV2ME01106
VD1-150	9.3A	GV2ME01146	8.6A	GV2ME01146

6. 据付・配管

6-1 キャプタイヤケーブルは引っ張らない

ポンプの据付、引き上げ時には、ハンドルを取り付けて行ってください。キャプタイヤケーブルを引っ張ったり、極端に折り曲げたりしないでください。

注意 ケーブル破損によりモータ故障、感電事故の原因となります。

6-2 ポンプ設置及び設置場所について

- ポンプの横置、あるいは宙吊りでの使用は出来ません。又、軟弱な池底や槽は、ポンプと配管重量に対応出来る基礎台を設置してください。ポンプの始動時は、回転による反力が発生します。ポ

ンプは確実に固定してください。

- 設置場所は、流水入口部などの気泡が発生する場所をさけてください。ポンプが気泡を吸い込むとエアロックが発生する事があり、その際に揚水不能となりポンプ故障の原因となります。

6-3 配管について。

- 配管には水流や、水圧により反力や応力が発生します。配管は確実に設置の上、固定してください。
- 配管は、途中で空気溜まりのできない様にしてください。また配管末端は水中に入れないでください。ポンプを停止した時、サイフォン現象で逆流することがあります。

7. 電気配線、運転

7-1 絶縁抵抗の測定

- 本体とアース(緑色)間を 500V メガ計にて計測してください。…0Ω
- 各線とアース(緑色)間を 500V メガ計にて計測してください。…20MΩ以上

7-2 結線について電源線は

赤(U)、白(V)、黒(W)です。緑色はアース線です。圧着端子等を用いて、接触不良のないよう確実に接続してください。



警告 電気配線は必ず有資格者によって行ってください。
接地は第三種接地工事を施してご使用ください。
電源には、各機体ごとに電気設備技術基準または、内線規定に適合する高速型の漏電遮断器を設置してください。



注意 本機には、モータ保護装置が内蔵されていません。電源には機体ごとにモータ保護装置（前項で機種ごとの仕様を記載しています）を設置してください。電源との接続部や漏電遮断器、モータ保護装置などの屋外設備は無論、屋内設備であっても屋内湿度が高い場合等、制御箱又接続箱を取り付け、絶縁低下を起こさないよう配線してください。



注意 ケーブルの先端は絶対水につけないでください。ケーブル先端からの浸水により絶縁低下を起こす恐れがあります。

7-3 回転方向の確認



電気配線後、羽根車の回転方向が図の通りであるか、確認してください。(ポンプ銘板にも回転方向矢印があります) 逆回転の場合、ポンプは揚水せず、異音、振動が発生します。



注意 ポンプの空運転は1分以内として下さい。1分以上の運転は異常発熱を起こし、ポンプ寿命を短くする事があります。
警告 回転方向を確認する際には、絶対に手などで羽根車に触れないでください。大変危険です。

逆回転時は、3本の電源配線のうち2本を入れ替えてください。

7-4 運転前の確認

- 運転開始前に、絶縁抵抗の測定を再度行い異常のないことを確認してください。
- 運転開始水位は、前項(5-6)で説明している通りです。水位を確認の上、始動してください。

7-5 運転中の確認

ストレーナ部にゴミや藻が多く付着すると、ポンプが過負荷となり故障の原因となります。常に目詰まりにご留意してください。

8. 保守・点検

8-1 日常点検

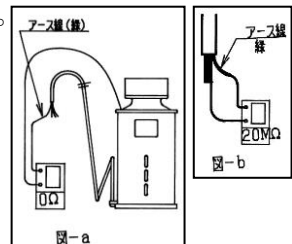
平素の運転状況、圧力、揚水量、電流、電圧、振動、異音などについて点検し、平常と異なる場合は故障の前兆ですので「故障原因と処置」を参考に、早めに処置してください。

8-2 定期点検

絶縁抵抗は次の要領で毎月測定してください。

- アース線とポンプ本体間・・・0Ω (図-a)
- 各相(U,V,W)とアース線(緑線)間を 500Vメガテスタ(絶縁計)で測定してください。

(図-b)



・ **20MΩ以上** . . . 連続して運転可能です。

・ **1～19MΩ** . . . 運転は可能ですが、絶縁が低下しています。

早い機会に、モータ及びケーブルの点検・修理が必要です。

・ **1MΩ以下** . . . 運転しないでください。

● **オーバーホール**

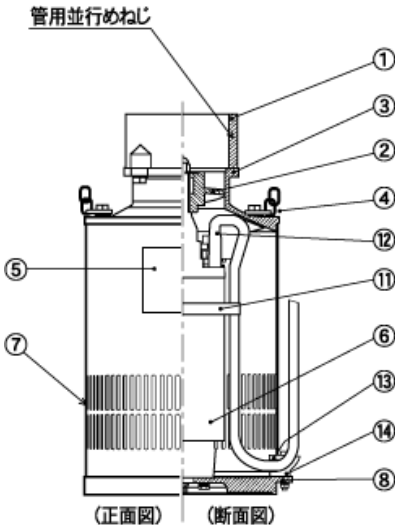
通常、砂などの固形物が無い水でご使用の場合、**5年毎**にオーバーホールを行ってください。

9. 故障原因と処置

現象	原因	処置
① 起動しないまたは、すぐ停止する	<ul style="list-style-type: none">・ 停電、低電圧発生・ 電源・制御回路等の接続不良・ ケーブルの断線、接続不良・ 漏電遮断器の作動・ 欠相が発生・ 異物が羽根にからみロック・ モータ焼損	<ul style="list-style-type: none">・ 電力会社、電気工事店に連絡・ 回路の点検、修正・ ケーブル交換及び修正・ 漏電箇所の修正・ 結線不良部の修正・ ポンプを点検。異物を取除く・ モータ交換
② 電源のモータ保護装置が働く	<ul style="list-style-type: none">・ 過電流発生・ 電流設定値が誤っている・ モータの異常(焼損等)・ 50Hz用を60Hzで使用	<ul style="list-style-type: none">・ 過電流の項参照・ 適切な機器に交換、又は正しい設定値にする・ モータ交換・ 銘板を確認し、ポンプ交換
③ 過電流になる	<ul style="list-style-type: none">・ 電圧降下が大きい。または各相の電圧値のバラツキが大きい・ 異物が羽根に巻きついている・ 軸受摩耗で羽根とケーシングが接触・ ストレーナの目詰が発生・ 揚程が高い・ 配管が長すぎる・ 配管の口径が小さすぎる。バルブ等で管通路を絞っている・ 50Hz用を60Hzで使用	<ul style="list-style-type: none">・ 電力会社、電気工事店に連絡対処する・ ポンプを点検、異物を取り除く・ モータ交換及び羽根やケーシングの交換・ ストレーナの点検掃除・ 設置場所の変更又は メーカーに対応を依頼・ 配管の口径を大きくする。又はメーカーに対応を依頼・ 配管口径はポンプ口径以上とする。バルブを取り外す・ 銘板を確認し、ポンプ交換

<p>④揚水量の低下 又は水が出ない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプの逆回転 ・エアロックを起こしている ・羽根車又は、ケーシングが摩耗している。 ・ストレーナに目詰が発生 ・揚程が高い、又は配管が長すぎる ・ポンプまたは、配管が閉塞している ・60Hz用を50Hzで使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源配線の2相を入替 ・ポンプを一時停止し水位確認後再始動させる ・羽根車またはケーシング交換 ・ストレーナの点検・清掃 ・計画を見直す ・閉塞物を除去する ・銘板を確認する。ポンプの交換が必要
<p>⑤振動、または異常音がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプの逆回転 ・異物がかみ込んでいる ・配管の支持部が緩んでいる ・軸受摩耗で羽根とケーシング接触 ・エアロックを起こしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源配線の2相を入替 ・ポンプを点検し異物を取る ・配管を確実にする ・モータ交換及び、羽根車とケーシング ・ポンプを一時停止、気泡の混入がないか確認する。水位確認後再始動させる。

10. 各部の名称



番号	名称	材質	数量
1	吐出口	FC-20	1
2	羽根車	SUS	1
3	ケーシング	FC-20	1
4	ハンドル		2
5	ポンプ銘板		1
6	水中キャンドモータ		1
7	ストレーナ	SUS	1
8	ベース	FC-20	1
11	ケーブルセットバンド		1
12	キャプタイヤケーブル	VCT	1
13	ケーブル押えA	FC-20	1
14	ケーブル押えB	FC-20	1

11. 保 証

●限定保証

(別途、保証書のある部分については、保証書に記載の内容が、以下の内容より優先します。)

弊社は、保証期間内に弊社のポンプに発生した故障について、以下に記載した内容に基づいて、無償修理いたします。

無償修理のご依頼は、製造番号、型式、周波数、ご購入年月日、ご購入先をご確認の上、弊社代理店、または弊社にお申し付けください。

1. 本製品の保証期間は、製品納品の日から1年間です。
2. 以下の項目のいずれかに該当する場合は有償修理となります。
3. 保証期間終了後の故障、または、保証期間内に故障が発生した場合であっても、保証期間終了から2週間を経過する以前に弊社代理店、弊社に無償修理要求のご連絡がなかった場合。
4. 本書に記載の取り扱い、保守、点検を行わなかった場合。火災、天災地変等の災害、公害、異常電圧などの外部の原因によって故障した場合。
5. 日本国外で販売、または、使用された場合。弊社純正部品、指定部品以外の部品をご使用の場合。弊社代理店、弊社以外で修理または、改造を行った場合。
6. 弊社代理店、弊社以外で修理または改造を行った場合。
7. 故障が弊社の設計上または製造上の不備によらない場合。

- ・ この限定保証条項は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ・ 本製品の故障に起因する二次的な損害の内、法律に定められたものを除くいかなる損害に関しても弊社は保証いたしません。
- ・ 無償修理の際、修理に要する部品、作業等のために発生する費用は弊社で負担いたしますが、その他の費用の負担は致しかねます。
- ・ 通常予想される消耗による性能低下は、保証いたしません。また、無償修理の際に故障と無関係に消耗し、交換が必要と判断した消耗部品は有償にて交換いたします。



有限会社 松阪製作所

〒596-0049

大阪府岸和田市八阪町 2 丁目 2 番 38 号

tel 072-438-2666

fax 072-438-2536

E-mail: mtskltd@matsusakaltd.co.jp

<http://www.matsusakaltd.co.jp>